

グレード 1

- 1 全音符、2 分音符、4 分音符、8 分音符、16 分音符、およびそれらと同じ音価の休符。タイ。付点音符、およびそれと同じ音価の休符(英文において、受検者は「whole note」や「half note」などアメリカ式の表現も使用可)
- 2 の単純拍子記号、小節線。また、これらの拍子における音符や休符(上記のグレード 1 で扱う範囲内)の正しい組み合わせ方。
- 3 音部記号。ト音記号とヘ音記号。両者の譜表上における音名。(中央のハ音を含む) シャープ、フラット、およびナチュラル記号と、それらの取り消し方。
- 4 全音と半音の配列を含む長音階の構成。ト音記号およびヘ音記号におけるハ長調、ト長調、ニ長調、ヘ長調の音階と調号。またそれらの調の主和音(基本形)、音階度数(音階の何番目の音かを数字で表す)、および主音からの音程(数字で表す)。
- 5 一般的な楽語と記号。速度表示、強弱記号、奏法やアーティキュレーションの指示などが含まれる。ト音記号、またはヘ音記号を用いて書かれた旋律に関する簡単な質問。

グレード 2

グレード1の内容に加えて

- 1 の単純拍子記号。これらの拍子における、音符と休符の組み合わせ方。3 連符、および休符を含む 3 連符。
- 2 五線の上、下それぞれ 2 本までの加線音符。
- 4 関係長調と短調。短音階の構成(和声短音階のみ)。どちらを用いるかは明記のこと。イ長調、変ロ長調、変ホ長調、およびイ短調、ホ短調、ニ短調の音階と調号。またそれらの調の主和音(基本形)、音階度数(音階の何番めの音かを数字で表す)および主音からの音程。(数字で表す)
- 4 一般的な楽語と記号。

グレード 3

グレード2までの内容に加えて

- 1 の複合拍子。これらの拍子における音符と休符の組み合わせ。32 分音符と 32 分休符。(弱起の曲を含む)
- 2 2 本以上の加線音符。ト音記号上に書かれた簡単な旋律を、ヘ音記号上に 1 オクターヴ低く書き直す。およびその逆の作業。
- 3 シャープ、フラットそれぞれ 4 つまでの長調と短調(和声短音階と旋律短音階を含む)の音階と調号。それらの調における主和音(基本形の)、音階度数(数字のみ)、および主音からの音程。(数字と種類)
- 4 楽語。旋律に関する簡単な質問。(フレーズの構造に関する質問を含む)

グレード4

グレード3までの内容に加えて

- 1 2拍子系、3拍子系、4拍子系のすべての単純拍子と複合拍子。これらの拍子における音符と休符の組み合わせ。2全音符（倍全音符）と2全休符。複付点音符と休符。2連符。
- 2 アルト記号（第3線上のハ音記号）。このグレードで扱うすべての調における（下記参照）、ト音記号、ヘ音記号、アルト記号上での読譜。ト音記号、またはヘ音記号で書かれた簡単な旋律を、高さを変えずにアルト記号上で判別、およびその逆の作業。ダブル・シャープ（重嬰）とダブル・フラット（重変）、またはその取り消し。異名同音。
- 3 シャープ、フラットそれぞれ5つまでの長調と短調の音階と調号。全音階における音階構成音の名称（主音、上主音など）、半音階の構成。このグレードで扱うすべての調における2音間の音程。（オクターヴ以内）
- 4 このグレードで扱うすべての調の主和音、下屬和音、属和音の基本形を判別。（短調では和声的短音階が使われる）
- 5 楽語、およびトリル、ターン、モルデント、アッチャカトゥーラ（短前打音）、アッポジャトゥーラ（長前打音）の認識。装飾音の書き方は含まれないが、各名称を答えられること。オーケストラで一般的に使用される楽器について。

グレード5

グレード4までの内容に加えて

- 1 の混合拍子、これらの拍子における音符と休符の組み合わせ。単純拍子における拍の不規則な分割。
- 2 テノール記号（第4線上のハ音記号）。このグレードで扱うすべての調における、4種類の音部記号（ト音記号、ヘ音記号、アルト記号、テノール記号）上での読譜。ある音部記号で書かれた簡単な旋律を、高さを変えずに他の音部記号で判別。移調楽器（in B $\flat$, in A, in F など）用に書かれた旋律を、実音に移調、およびその逆の作業。（移調する音程度数は指示される）
- 3 シャープ、フラットそれぞれ6つまでの、長調と短調の音階と調号。単音程と複音程。
- 4 このグレードで扱うすべての調の主和音、上主和音、下屬和音、属和音の、基本形および第一転回形、第二転回形の判別。ハ、ト、ニ、ヘ各長調の簡単な旋律における終止形での和音選択。ハ、ト、ニ、ヘ長調においての全終止、半終止、変終止。
- 5 楽語と記号。装飾音の認識。適切な装飾音の記号を用いて、音符を書きかえられたものの判別。その逆の作業は含まれない。声楽曲、あるいは器楽曲からの抜粋より、声部の種類（ソプラノ、アルト、テノール、バスの区別）、楽器の名称、音部記号、楽器の分類、楽器の発音方式などの質問。理論の応用力、一般的な音楽的観察力に関する問題も含む。